

今日の針葉樹製材を取りまく環境

株式会社北星林業株式会社代表取締役 渡部 泰範

現在住宅用部材として使用されている木材は次の4種類に大別出来ると思われま。すなわち構造用材 外壁用材 内部造作用材 外部エクステリア用材です。それぞれの使われ方について私なりに話を進めて行きます。

まずの構造用材についてですが、現在道内で主に使用されている針葉樹構造材は道内材の「エゾ・トドマツ」、アメリカ、カナダより「スプルース類・パイン類・ファー類」、ソ連より「ファー類」等おおよそ12～13種類がそれぞれ一長一短をもちながら使用されています。我々木材供給業者としては多種多様な木材を扱うということは、今まで以上に気をを使う様になりました。

まず第1点はある程度量的にはお客さまの要望にに応じることが出来ますが、反面均一な品質および規格の製材を供給することは技術的に難しくなっているということです。一例として今後大幅な需要が予想される乾燥材を取り上げますと、今日アメリカ、カナダより入荷しております、ディメンションランバー、つまり2×4工法用部材はダグラスファー、ヘムロック、S-P-F材（スプルース・パイン・ファー類）とおおむね5～6種類の違う樹種から生産されているわけですが、だいたい均一な乾燥および品質になっております。これは同一樹種による挽立・乾燥のスケジュールで計画生産しているのも一因ですが、製材の厚さがすべて一定であることがもっとも重視すべきところ。すなわち見込生産が可能なわけです。2×4工法が要求する製材の価格・サイズがすべて一定であることが製材を均一な品質に

させていると思われま。

反面、日本の住宅構造は一応在来工法と呼ばれ区別されているようですが、これと言った決めごとがあるわけではなく各業者さんあるいは大手のホームビルダーさんによっても要求する製材のサイズ・規格が違うわけですから私ども、供給側にとっても見込生産の挽立スケジュールを立てることは実際には非常な危険を冒しているわけ。10年前と違って現在は納期が短く日本農林規格の製材では適用しないため、どうしても受注生産にならざるを得ません。多種多様なそれぞれ特性の違いを木材を短期に挽いて乾燥し、クレームのつかない製材に仕上げるには無理があるというものです。しかもそれなりの評価を受けていないのが現状です。我々生産者および供給者側が望むのは、出来るだけスペックの少ない製材で建てることが可能な住構造を開発してもらおうことでして、住宅のデザインあるいは新しい建材が開発されていますが、一番かんじんな構造が30年前も今も変わらないのでは、製材加工にも限界があります。今後、今以上に木造住宅の良さを啓もう普及させるためにも、日本の住構造を統一していくことが大事でしょう。

次にインテリア用部材（内部構造材）についてお話をします。現在ほとんど多くの住宅にみられるのはラワン材の枠にパネルの合板、床には積層フローアがもっともポピュラーな造作でしょう。しかし、年々優良で欠点のない木材が少なくなり資源小国といわれる日本ですが、この日本ほどもっともぜいたくに木材を使用している国はないので

はないでしょうか。しかし現実はあるべく手間のかからない、そして特殊な技術を必要としない造作になるでしょう。私がどの住宅を見せたいにしても内部があまり変わりばえのしない原因のひとつに、日本の場合中古住宅の価値があまりにも低く過ぎることが上げられると思います。すなわち建てるのが主たる目的になり、建ててからの価値作りがなく、そのために中古住宅に魅力を感じないのかもしれませんが。高いお金を払って建てた住宅ですから、資産の運用の点からもこれからの住宅は住みながら手を加え価値を作り出すのもひとつの方法かもしれません。

最後に北国の住まいを考える上で外部の空間をより活用するために、私はウッド・デッキを提案したいと考えます。これからの住空間を考えると、遊び心のあるそして個性をもっと強調して行くことが大事です。私ども寒冷地に住むものにとって、あのコンクリートで出来た冷たく硬いイメージのベランダよりも温かみのある自由な発想が出来るのがWood Deckです。また庭のまわりの環境に適したデザインで造ることが可能なWood Deckだと思います。今後、原木の小径化にあって有効利用の点からも私は提案したいと思います。将来北国に住む我々の生活又は生活空間の変化と今後増えるであろう余暇の利用が合いまっ

て、私ども木材を扱う者がそれに合った製品を開発することが必要な時に近づいている様な気がします。すなわち「自分で造る」ための部材の開発そして提供が我々の使命のひとつと考えます。

ここで2、3点ウッドデッキの実例を写真で紹介いたします。

写真1、2は日曜大工では無理と思いますが写真3、4は誰にでも出来る例です。参考にして下さい。

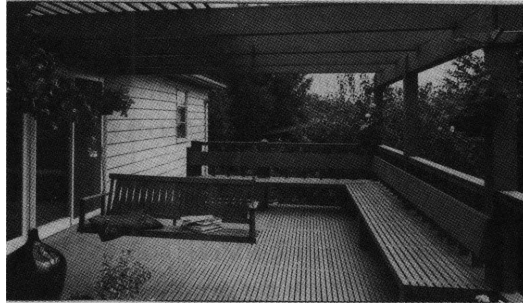


写真2 2Fのベランダ部分

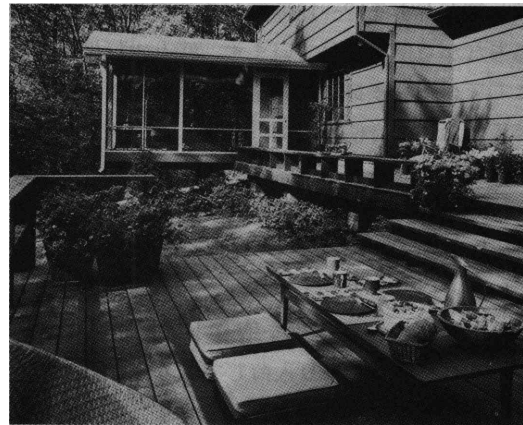


写真3 庭の一部としてA



写真1 ベランダとして



写真4 庭の一部としてB